

(参考様式1)

<見守り機器等>申請額算出内訳表

法人名	社会福祉法人 障福
事業所・施設名	障害者支援施設 障福
事業所番号	0811000001
サービス種別	障害者支援施設

(単位：円)

導入機器名	メーカー	導入台数	1台(式)当たりの 実支出額 (税抜き)	初期設定に要する費用 (税抜き)	総事業費 (税込み)	1台(式)当たりの 補助対象額	1台(式)当たりの 補助上限額	1台(式)当たりの 選定額	1台(式)当たりの 選定額×導入台数	1施設当たりの 補助上限額	所要額
		A	B	C	-	$D=(B+C/A)*4/5$	E	$F=D$ 又は E	$G=F*A$	H	$I=(G$ 又は $H)$
〇〇〇	A社	4	219,500	1,000,000	1,317,250	375,000	300,000	300,000	1,200,000	/	/
						#VALUE!	0	#VALUE!			
						#VALUE!	0	#VALUE!			
						#VALUE!	0	#VALUE!			
通信環境整備			400,000		440,000	320,000		320,000	320,000		
合計		4			1,757,250				1,520,000	1,600,000	1,520,000

< ICT機器 > 申請額算出内訳表

法人名	社会福祉法人 障福
事業所・施設名	障害者支援施設 障福
事業所番号	0811000001
サービス種別	障害者支援施設

(単位：円)

導入機器名	メーカー	導入台数 (情報端末の 台数)	対象経費の 実支出額 (税抜き)	総事業費 (税込み)	補助対象額 B(=A*4/5)	補助上限額 C	所要額 D(=B又はC)
		-	A	-			
△△△	B社	1	600,000	660,000	/	/	/
□□□	C社	5	480,000	528,000			
合計		6	1,080,000	1,188,000	864,000	1,000,000	864,000

(参考様式3)

歳入歳出予算書抄本

(単位：円)

(歳入)		(歳出)	
補助金	2,384,000	〇〇〇	1,317,250
自己資金	561,250	通信環境整備	440,000
		△△△	660,000
		□□□	528,000
歳入合計	2,945,250	歳出合計	2,945,250

令和6年11月10日

(法人名) 社会福祉法人 障福

(代表者職氏名) 社会福祉法人 障福 太郎

(参考様式4)

<見守り機器等>実施計画書

法人名	社会福祉法人 障福	事業所・施設名	障害者支援施設 障福
法人所在地	水戸市笠原町978-6	事業所番号	081100001
代表者職氏名	理事長 障福 太郎	サービス種別	障害者支援施設
担当者名	自立 太郎	TEL	029-301-3363
		Mail	shofuku@pref.ibaraki.lg.jp

1 導入機器名	〇〇〇、通信環境整備
---------	------------

2 補助要件
(1) 交付要項別表2で定める要件のうち、どちらを満たすか。
ア：福祉・介護職員等処遇改善加算及び福祉・介護職員等処遇改善臨時特例交付金又はその他加算・手当等を除く自主的な財源を用いて、直接処遇職員職員等に対する総支給額の引上げを全体として2.0%以上行うこと。
イ：「いばらき介護の働きやすい職場宣言」の認定を受けること。 なお、宣言内容には、定められた5つの小項目のうち3つ以上に取り組むこと。
ア <input type="text"/> ← リストの中から選択ください

【アを選択した場合】		
(1) - 1 「自主財源」による引上げを行う(行った)時期	令和7年1月	← リストの中から選択ください
(1) - 2 上記の引上げ(予定)率	2.2	%

【イを選択した場合】
(1) - 1 取組予定の小項目(3つ以上)
<input type="checkbox"/> 育児・介護と仕事を両立できる取組の実施
<input type="checkbox"/> 明確な給与体系の導入
<input type="checkbox"/> 健康管理に関する取組の実施
<input type="checkbox"/> 職員の資質向上のための研修や資格取得の取組の実施
<input type="checkbox"/> 多様な人材の職場環境の構築

(2) 補助金要項の別表1より、目的要件、技術的要件、市場的要件を満たす見守り機器か。
はい <input type="text"/> ← リストの中から選択ください

(3) 機器を導入するにあたって、事業所・施設内で検討を行ったか。
はい <input type="text"/> ← リストの中から選択ください

3 機器の導入希望理由等
※ 施設・事業所における介護業務の課題等をふまえた上でご記載ください。 ・入所者が深夜に徘徊や離床を繰り返し、夜間の支援業務の負担が増えている。夜間の訪室や巡回等の効率化を図るため上記機器を導入したい。

4 機器の使用目的
※ 3で記入した課題等の解決方法等も併せてご記載ください。 ・夜間に徘徊等をする利用者の離床を把握するために使用する他、新規入居者の方などの1日の生活リズム等を把握するために使用する。

5 期待される効果及び達成すべき目標
※ 具体的な数値等の目標も、あわせてご記載ください。 ・夜間の訪室や巡回数を削減し、業務の効率化や職員の身体的、精神的な負担軽減を目指す。具体的には、夜間の訪室・巡回数を1日10回から8回に減らしたい。

6 導入スケジュール
※ 具体的な数値等の目標も、あわせてご記載ください。 11月 メーカーから機器の説明・動作確認、施設内で職員向け説明会 12月 機器導入、優先順位の高い利用者から順次使用していく。 1月 支払い完了(事業完了)

(参考様式5)

<ICT機器>実施計画書

法人名	社会福祉法人 障福	事業所・施設名	障害者支援施設 障福
法人所在地	水戸市笠原町978-6	事業所番号	081100001
代表者職氏名	理事長 障福 太郎	サービス種別	障害者支援施設
担当者名	自立 太郎	TEL	029-301-3363
		Mail	shofuku@pref.ibaraki.lg.jp

1 導入する機器等	<input type="radio"/>	ソフトウェア（一気通貫可能、あるいは業務機能追加）
	<input type="radio"/>	情報端末（タブレット・タブレット型PC・スマートフォン）
	<input type="radio"/>	情報端末（インカム）
	<input type="radio"/>	通信環境機器等（Wi-Fiルーター及びWi-Fi環境整備費）
	<input type="radio"/>	保守経費等（クラウドサービス、セキュリティ対策、保守・サポート費等）
		バックオフィス用（勤怠管理・シフト表・人事・給与等）のためのソフト導入経費
導入機器名	△△△、□□□	

2 補助要件	
(1) 交付要項別表2で定める要件のうち、どちらを満たすか。	
ア：福祉・介護職員等処遇改善加算及び福祉・介護職員等処遇改善臨時特例交付金又はその他加算・手当等を除く自主的な財源を用いて、直接処遇職員職員等に対する総支給額の引上げを全体として2.0%以上行うこと。	
イ：「いばらき介護の働きやすい職場宣言」の認定を受けること。 なお、宣言内容には、定められた5つの小項目のうち3つ以上に取り組むこと。	
イ	← リストの中から選択ください

【アを選択した場合】	
(1) -1 「自主財源」による引上げを行う（行った）時期	← リストの中から選択ください
(1) -2 上記の引上げ（予定）率	%

【イを選択した場合】	
(1) -1 取組予定の小項目（3つ以上）	
<input type="radio"/>	育児・介護と仕事を両立できる取組の実施
<input type="radio"/>	明確な給与体系の導入
<input type="radio"/>	健康管理に関する取組の実施
<input type="radio"/>	職員の資質向上のための研修や資格取得の取組の実施
多様な人材の職場環境の構築	

(2) 補助金要項の別表2より、要件を満たすICT機器か。	
はい	← リストの中から選択ください

(3) 機器を導入するにあたって、事業所・施設内で検討を行ったか。	
はい	← リストの中から選択ください

3 導入する意義・目的	<input type="radio"/>	ソフトウェア、クラウドサービス等を新たに導入して、記録業務から請求業務まで、ICT導入による業務の一気通貫化を実現する。
	<input type="radio"/>	既に一気通貫のシステムは導入しているが、より効果的に使えるようにするために、新たに機器等（業務機能追加・タブレット等）を導入する、あるいはネットワーク環境を整備する。
	<input type="radio"/>	既に、一気通貫のシステムは導入しているが、ライセンスを追加することでより多くの職員がICTを活用できるようにする。
※その他上記以外の意義・目的があればご記載ください。		

4 期待される効果及び達成すべき目標	・1人当たりの、間接業務（記録の入力作業や請求作業）にかかる時間を、1日あたり2時間から1.5時間に減らす。 ・ICT化による生産性の向上により、新規職員の職場定着率の向上を図る。
--------------------	---

5 ペーパーレス化の見込み量	ICT機器導入前		ICT機器導入後	
	5,000	枚/月	4,000	枚/月

6 導入スケジュール	11月 メーカーから機器の説明・動作確認、施設内で職員向け説明会 12月 機器導入 1月 支払い完了（事業完了）
------------	--

(参考様式6)

<見守り機器等>精算額算出内訳表

法人名 _____
 事業所・施設名 _____
 事業所番号 _____
 サービス種別 _____

(単位：円)

導入機器名	メーカー	導入台数	1台(式)当たりの 機器購入価格 (税抜き)	初期設定に要する費用 (税抜き)	総事業費 (税込み)	1台(式)当たりの 補助対象額	1台(式)当たりの 補助上限額	1台(式)当たりの 選定額	1台(式)当たりの 選定額×導入台数	交付決定額	交付精算額
		A	B	C	-	$D=(B+C/A)*4/5$	E	$F=D$ 又は E	$G=(F*A)$	I	$J=(H$ 又は $I)$
〇〇〇	A社	5	219,500	1,000,000	1,317,250	335,000	300,000	300,000	1,500,000	/	/
						#VALUE!	0	#VALUE!			
						#VALUE!	0	#VALUE!			
						#VALUE!	0	#VALUE!			
通信環境整備			400,000	0	440,000	400,000		400,000	400,000		
合計		5			1,757,250				1,900,000	1,500,000	1,500,000

(参考様式7)

< ICT機器 > 精算額算出内訳表

法人名	社会福祉法人 障福
事業所・施設名	障害者支援施設 障福
事業所番号	0811000001
サービス種別	障害者支援施設

(単位：円)

導入機器名	メーカー	導入台数 (情報端末の 台数) -	対象経費の 実支出額 (税抜き) A	総事業費 (税込み) -	所要額 B(=A*4/5)	交付決定額 D	交付精算額 E(C又はD)
△△△	B社	1	600,000	660,000	/	/	/
□□□	C社	5	480,000	528,000			
合計		6	1,080,000	1,188,000	864,000	864,000	864,000

(参考様式8)

歳入歳出決算書抄本

(単位：円)

(歳入)		(歳出)	
補助金	2,364,000	〇〇〇	1,317,250
自己資金	581,250	通信環境整備	440,000
		△△△	660,000
		□□□	528,000
歳入合計	2,945,250	歳出合計	2,945,250

令和7年1月20日

(法人名) 社会福祉法人 障福
(代表者職氏名) 理事長 障福 太郎

(参考様式9)

<見守り機器等>実績報告書

法人名	社会福祉法人 障福	事業所・施設名	障害者支援施設 障福
法人所在地	水戸市笠原町978-6	事業所番号	0811000001
代表者職氏名	理事長 障福 太郎	サービス種別	障害者支援施設

担当者名	自立 太郎	TEL	029-301-3363
		Mail	shofuku@pref.ibaraki.lg.jp

【実施内容】	
(1) 導入機器名	〇〇〇、通信環境整備
(2) 具体的な使用状況をご記載ください。	
・利用者が離床した際に通知を受け、速やかに支援職員が訪室している。 ・呼吸や心拍数等を把握し、利用者に異常が無いか定期的に確認している。	
【補助要件】	
(1) 交付要項別表1で定める要件のうち、どちらを満たしましたか。	
ア：福祉・介護職員等処遇改善加算及び福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金又はその他加算・手当等を除く自主的な財源を用いて、直接処遇職員職員等に対する総支給額の引上げを全体として2.0%以上行うこと。	
イ：「いばらき介護の働きやすい職場宣言」の認定を受けること。 なお、宣言内容には、定められた5つの小項目のうち3つ以上に取り組むこと。	
ア	← リストの中から選択ください

※本報告書と併せて「(参考様式9, 10) 別添 直接処遇職員等 総支給額引上げ率計算書」を提出すること。

【アを選択した場合】	
(1) -1 「自主財源」による引上げを行った時期	令和7年1月 ← リストの中から選択ください

【備考】

(参考様式10)

<ICT機器>実績報告書

法人名	社会福祉法人 障福	事業所・施設名	障害者支援施設 障福
法人所在地	水戸市笠原町978-6	事業所番号	081100001
代表者職氏名	理事長 障福 太郎	サービス種別	障害者支援施設

担当者名	自立 太郎	TEL	029-301-3363
		Mail	shofuku@pref.ibaraki.lg.jp

【実施内容】					
(1)導入機器名					
△△△、□□□					
(2)現在、事業所内でICT化(ソフトウェア等による業務化)されている部分をご回答ください。(複数回答可)					
<input type="checkbox"/>	利用者個人の情報、アセスメントの記録、保管	<input type="checkbox"/>	具体的なサービス内容等の記録	<input type="checkbox"/>	事業所内での情報共有
<input type="checkbox"/>	居宅(施設)サービス計画書の作成、保管		職員の出退勤表、シフト表の作成、保管	<input type="checkbox"/>	給付費明細書の作成
<input type="checkbox"/>	サービス提供記録の法人内、他法人事業所との共有		他事業所・医療機関との情報共有		
<input type="checkbox"/>	サービス提供記録の作成、保管		利用者家族との情報		

【補助要件】	
(1) 交付要項別表2で定める要件のうち、どちらを満たしましたか。	
ア：福祉・介護職員等処遇改善加算及び福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金又はその他加算・手当等を除く自主的な財源を用いて、直接処遇職員職員等に対する総支給額の引上げを全体として2.0%以上行うこと。	
イ：「いばらき介護の働きやすい職場宣言」の認定を受けること。 なお、宣言内容には、定められた5つの小項目のうち3つ以上に取り組むこと。	
イ	← リストの中から選択ください

※本報告書と併せて「宣言に係る「認定通知書」の写し」を提出すること。

【アを選択した場合】	
(1) -1 「自主財源」による引上げを行った時期	← リストの中から選択ください

【備考】
・システムの使い方については、定期的に研修会を開き、より多くの職員が使えるようにする。

(参考様式9, 10) 別添

直接処遇職員等 総支給額引上げ率計算書

法人名	社会福祉法人 障福
事業所・施設名	障害者支援施設 障福
事業所番号	0811000001
サービス種別	障害者支援施設

Step1・2. 対象職員の総支給額及びその差額の内訳を確認する。

Step3・4. Step2において求めた対象職員の総支給額及びその差額をそれぞれ足し上げ、以下の表の黄色セルに入力する。入力後、「自主財源」による引上げ率」及び「加算・補助金」による引上げ率」の判定が、どちらも「○」になっていることを確認する。

(単位：円)			(単位：円)			
直接処遇職員等に対する総支給額			【A】差額の内訳			
R6.1.31を基準に直前の総支給額 (又は指定後最初の総支給額)	実績報告日を基準に 直前の総支給額	【A】差額	自主財源	加算・補助金	その他加算 ・手当等	定期昇給
2,684,169	2,880,118	195,949	54,000	54,000	59,949	28,000

・「自主財源」による引上げ率 (要件：自主財源÷R6.1.31を基準に直前の総支給額≧2.0%)

$$\frac{54,000}{2,684,169} = 2.01\%$$

判定
○

・「加算・補助金」による引上げ率 (要件：加算・補助金÷R6.1.31を基準に直前の総支給額≧2.0%)

$$\frac{54,000}{2,684,169} = 2.01\%$$

判定
○